令和６年度教員採用候補者選考試験問題	校種	－	教科	養護教諭	（その １）

＊　**解答は、すべて「解答用紙」に記入すること。**

1　学校保健安全法及び学校保健安全法施行規則について、以下の(1)、(2)の各問いに答えよ。**[(1) １点、(2)各２点]**

(1)　次の学校保健安全法の条文の（　①　）～（　③　）に入る適切な語句の正しい組み合わせを下のA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

第６条　（　①　）は、学校における換気、（　②　）、照明、（　③　）、清潔保持その他環境衛生に係る事項（略）について、児童生徒等及び職員の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準（略）を定めるものとする。

A	①	学校の設置者	－	②	騒音	－	③	温度	B	①	文部科学大臣	－	②	採光	－	③	保温
C	①	文部科学大臣	－	②	保温	－	③	騒音	D	①	学校の設置者	－	②	温度	－	③	採光

(2)　学校保健安全法施行規則について、以下のア、イの各問いに答えよ。

ア　次の文は、学校保健安全法施行規則第 19 条第２号の一部を抜き出したものである。（　①　）に入る適切な数字と、（　②　）～（　④　）に入る適切な語句をそれぞれ答えよ。

第二種の感染症（結核及び髄膜炎菌性髄膜炎を除く。）にかかつた者については、次の期間。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでない。

ロ　百日咳にあつては、特有の咳が消失するまで又は（　①　）日間の適正な（　②　）性物質製剤による治療が終了するまで。

ホ　風しんにあつては、発しんが（　③　）するまで。

ヘ　水痘にあつては、すべての発しんが（　④　）するまで。

イ　次の文は、「学校において予防すべき感染症の解説」（平成 30 年３月　公益財団法人日本学校保健会）に示されている、インフルエンザによる出席停止についての質問と回答である。（　①　）に入る適切な数字と、（　②　）に入る適切な曜日をそれぞれ答えよ。

[質問]　インフルエンザの「発症した後５日を経過」とは、どのように数えるのですか。

[回答]　「発症した後５日を経過」については、症状が出た日の翌日を（　①　）日目として数えます。例えば、水曜に発症した場合は、翌日の木曜が（　①　）日目になりますので、「発症した後５日を経過」し、登校（園）が可能になるのは、翌週の（　②　）曜になります（ただし、解熱した後２日（幼児にあっては３日）を経過した場合）。

2　救急処置について、以下の(1)～(3)の各問いに答えよ。**[各２点]**

(1)　マムシやハブに咬まれた場合の手当と注意事項について、次の文中の（　①　）～（　⑥　）に入る適切な語句をそれぞれ答えよ。

・　手足を曲げ伸ばしたり走ったりしないよう、（　①　）にする。
・　急いで医療機関に搬送する。できるだけ早い時期に、毒素を中和する治療法として、抗毒素（　②　）を使用する。
・　マムシやハブに咬まれた場合、（　③　）や疼痛、皮下出血がおき、リンパ節の（　③　）や圧痛が出現する。全身症状としては（　④　）症状や血圧の（　⑤　）がおきて（　⑥　）不全などをきたし、死にいたるケースもある。
・　手当として水分を与えるのは、（　④　）症状を防ぐためである。

(2)　児童生徒が野外活動でヘビに咬まれないようにするために、服装について事前指導することになった。どのような指導をするか、簡潔に述べよ。

(3)　「改訂『生きる力』を育む小学校保健教育の手引」（平成 31 年３月　文部科学省）において「けがの防止」を取り扱う学年及び「改訂『生きる力』を育む中学校保健教育の手引」（令和２年３月　文部科学省）において「傷害の防止」を取り扱う学年をそれぞれ答えよ。

3　「教職員のための指導の手引～UPDATE！エイズ・性感染症～」（平成 30 年３月　公益財団法人日本学校保健会）について、以下の(1)、(2)の各問いに答えよ。**[(1)各１点、(2)各２点]**

(1)　次のア～カについて、正しいものには○、誤っているものには×を記入せよ。

ア　性感染症は、感染するとすぐに症状が出ることが多く、生殖年齢にある男女を中心とした大きな健康問題である。

イ　女性の場合には、解剖学的に性感染症への感染の危険性が高く、感染すると慢性的な骨盤内炎症性疾患の原因となりやすく、次世代への影響があること等の特性がある。

ウ　性感染症は、早期発見及び早期治療により治癒、重症化の防止又は感染の拡大防止が可能な疾患であり、性感染症の予防には、正しい知識とそれに基づく注意深い行動が重要である。

エ　C型肝炎とＨＰＶ感染症（尖圭コンジローマ/子宮頸がん）については、予防のためのワクチン接種を受けることができる。

オ　性感染症への罹患は、尿や血液の検査でわかるので、進行する前に医療機関で治療を受けることが大切である。

カ　エイズは梅毒と比べて感染力が強い。

(2)　学校における性に関する指導は、学習指導要領に示した内容に基づいて実施することが重要である。その指導に当たっての留意点を簡潔に二つ述べよ。

この問題については、それぞれに著作権がありますので十分に注意をしてください。

4　「学校環境衛生管理マニュアル」（平成 30 年度改訂版　文部科学省）に示されている、水道水を水源とする飲料水（専用水道を除く。）の水質の検査について、以下の(1)～(3)の各問いに答えよ。**[各２点]**

(1)　毎学年１回定期に行う水質の検査項目のうち、pH 値、味、臭気、遊離残留塩素のほかに二つ答えよ。

(2)　次の文中の（　ア　）～（　ウ　）に入る適切な語句をそれぞれ答えよ。

・　検査は給水系統の代表的な（　ア　）の給水栓から採水して行う。
・　給水栓水については、遊離残留塩素が（　イ　）mg/L 以上保持されていること。(略)
・　貯水槽の容量が過大で滞留時間が長すぎる場合や、連休等で長時間使用されなかった場合には、遊離残留塩素の減少により、（　ウ　）の繁殖を抑制できなくなるおそれがある。

(3)　水質の検査の結果が基準に適合しない場合に、児童生徒に対して指導すべき事項を一つ述べよ。

5　養護教諭の職務について、以下の(1)、(2)の各問いに答えよ。**[(1)ア各１点、その他各２点]**

(1)　「教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応」（平成 21 年８月　文部科学省）について、以下のア、イの各問いに答えよ。

ア　健康観察の目的について、次の（　a　）～（　e　）に入る適切な語句を下の語群から選び、記号でそれぞれ答えよ。

①　子どもの（　a　）の健康問題の早期発見・早期対応を図る。
②　感染症や（　b　）などの集団発生状況を把握し、感染の拡大防止や予防を図る。
③　日々の（　c　）的な実施によって、子どもに（　d　）に興味・関心をもたせ、（　e　）の育成を図る。

語群										
	1	アレルギー疾患	2	長期	3	食中毒	4	学校教育活動	5	継続
	6	自他の健康	7	自己管理能力	8	記憶力	9	心身	10	精神疾患

イ　健康観察は、学級担任や養護教諭が中心となり、全教職員が共通の認識をもつことが重要である。授業中の健康観察の主な視点を一つ述べよ。

(2)　「現代的健康課題を抱える子供たちへの支援～養護教諭の役割を中心として～」（平成 29 年３月　文部科学省）には、自殺予防の知識として、子どもにどのようなことを伝えておく必要があると示されているか、簡潔に三つ述べよ。

6　栄養について、以下の(1)、(2)の各問いに答えよ。**[(1)イ完答３点、(2)各１点、その他各２点]**

(1)　鉄（Fe）について、以下のア～ウの各問いに答えよ。

ア　**表１**は、体内に含まれる鉄の形態と、鉄タンパク質の種類を示したものである。（　①　）、（　②　）に入る適切な語句をそれぞれ答えよ。

表１

形態	鉄タンパク質
（　①　）鉄	ヘモグロビン
	ミオグロビン
	ヘム酵素
	非ヘム酵素
	トランスフェリン鉄
（　②　）鉄	フェリチン
	ヘモシデリン

イ　次の１～３の文のうち、誤りがあるものを一つ選び、記号で答えよ。また、誤っている語句を抜き出し、正しく書き直せ。

１　食品中の鉄には、レバー・肉・魚などに含まれるヘム鉄と、主に植物性食品に含まれる非ヘム鉄とがある。
２　非ヘム鉄の吸収率は、動物性タンパク質やビタミンＡと一緒に摂取すると高まる。
３　鉄は、ヘモグロビン鉄として、血液中の酸素運搬に関与している。

ウ　鉄欠乏性貧血で治療中の生徒が、医師からお茶・コーヒー・紅茶などを食事前後に摂取しないよう指導を受けた。それらの飲料に含まれる鉄の吸収を妨げる成分は何か、答えよ。

(2)　**表２**は、ミネラル（無機質）の一般的機能をまとめたものである。（　①　）～（　④　）に入る適切な語句を下の語群から選び、記号でそれぞれ答えよ。

表２

機能による分類	はたらき	関与するミネラルあるいは関連物質
生体組織の構成成分	（　①　）などの構成成分	カルシウム・リン・マグネシウムなど
	生体内の（　②　）の構成成分	リン脂質・ヘモグロビンの鉄・含硫アミノ酸の硫黄など
生体機能の調節	体液の恒常性の維持（pH や浸透圧の調節）	カリウム・ナトリウム・カルシウム・マグネシウム・リンなど
	筋肉の（　③　）、神経の（　④　）の調節	カリウム・ナトリウム・カルシウム・マグネシウムなど
	酵素の活性化作用	マグネシウム・鉄・銅・亜鉛・セレン・マンガンなど
	生理活性物質の構成成分	鉄・ヨウ素・亜鉛・モリブデンなど

語群								
	A	有機化合物	B	収縮	C	皮膚	D	抑圧性
	E	骨や歯	F	無機化合物	G	興奮性	H	拡張

この問題については、それぞれに著作権がありますので十分に注意をしてください。

7　児童生徒の健康問題について、以下の(1)、(2)の各問いに答えよ。**[各２点]**

(1)　次のア～オの説明文に該当する疾患名をそれぞれ答えよ。

ア　思春期やせ症（神経性食欲不振症）、過食症（神経性過食症）、分類不能に分けられる。思春期女子に増加傾向にあり、低年齢化もみられ、男子にも発症する。

イ　この症状には、特発性中枢性といって正常な思春期が異常に早期に発来する場合と、腫瘍などから性ホルモンが異常に分泌される場合とがある。

ウ　立ちくらみ失神、朝起き不良、倦怠感、動悸、頭痛などの症状を伴い、思春期に好発する自律神経機能不全の一つである。

エ　アレルギー反応により、じんましんなどの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、呼吸困難などの呼吸器症状が、複数同時にかつ急激に出現した状態のことである。

オ　血中の甲状腺ホルモン作用が必要よりも低下した状態である。症状には、一般的に、無気力、疲労感、むくみ、寒がり、体重増加、動作緩慢、記憶力低下、便秘などがある。

(2)　「精神疾患に関する指導参考資料～新学習指導要領に基づくこれからの高等学校保健体育の学習～」（令和３年３月　公益財団法人日本学校保健会）に示されている精神疾患について、以下のア、イの各問いに答えよ。

ア　次の文は、精神疾患の要因について述べたものである。（　　）に入る適切な語句を答えよ。

精神疾患は、一つの要因ではなく、（　　）要因・心理的要因・社会的要因等が、複雑に絡み合って起こる。

イ　生徒が精神疾患を理解するための指導として、大切なことを簡潔に一つ述べよ。

8　「児童生徒等の健康診断マニュアル」（平成 27 年度改訂　公益財団法人日本学校保健会）について、以下の(1)、(2)の各問いに答えよ。**[各２点]**

(1)　**表３**は、結核の有無に関する検査の方法について示したものである。（　ア　）～（　エ　）に入る適切な語句をそれぞれ答えよ。

表３

小学校・中学校	高等学校、高等専門学校・大学の第１学年
問診による情報の把握 ①　本人の結核罹患歴 ②　予防（　ア　）歴 ③　家族の結核罹患歴 ④　（　イ　）での居住歴 ⑤　自覚症状、健康状態 （特に、（　ウ　）以上の長引く咳や痰） ⑥　ＢＣＧ接種の有無 学校医による診察（問診票記載事項の確認、触診、聴打診）	（　エ　） 学校医による診察（問診票記載事項の確認、触診、聴打診）

(2)　次の文は、結核対策について述べたものである。文中の（　ア　）～（　ウ　）に入る適切な語句をそれぞれ答えよ。

結核対策において重要なことは、①児童生徒等への感染防止、②感染者及び（　ア　）者の早期発見・早期治療、③患者発生時の対応の３点からの対策の充実・強化である。また、学校における結核対策においては、（　イ　）をはじめとする地域保健との連携が必要不可欠である。健康診断の結果を踏まえて、適切な健康観察、結核に関する（　ウ　）などを実施する。（略）

9　耳の構造と機能について、以下の(1)、(2)の各問いに答えよ。**[(1)各２点、(2)各１点]**

(1)　**図１**は、耳小骨の構造を示したものである。次のア、イの各問いに答えよ。

ア　（　①　）～（　④　）の各部位の名称をそれぞれ答えよ。

イ　耳小骨の機能を簡潔に述べよ。

(2)　次のア～ウについて、正しいものには○、誤っているものには×を記入せよ。

ア　耳は、音を感音することと、身体の動きや位置を感受して平衡を保つこととの２つの大きな機能を担う。

イ　外耳道の長さは成人で約３㎝である。

ウ　蝸牛は２回転半のカタツムリのような形をしており、内リンパ液の入った前庭階と鼓室階がある。

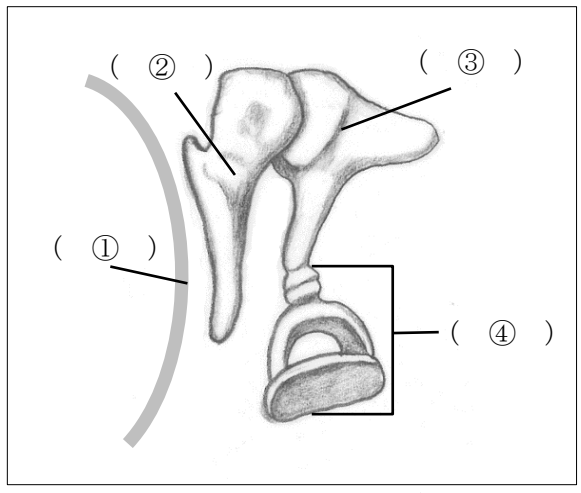


図１

この問題については、それぞれに著作権がありますので十分に注意をしてください。

校種	―	教科	養護教諭	番号		氏名	

○　　○　　○　　○

令和６年度教員採用候補者選考試験解答用紙　（その１）

得 点	120　　点

1

(1)	B									
(2)	ア	①	5	②	抗菌	③	消失	④	痂皮化	
	イ	①	1	②	火					

2

(1)	①	安静	②	血清	③	腫脹
	④	脱水	⑤	低下	⑥	腎
(2)	長ズボン、長袖、厚手の靴下、手袋をつけ、皮膚を露出しないこと。					
(3)	小学校　：　第　5　学年		中学校　：　第　2　学年			

3

(1)	ア	×	イ	○	ウ	○	エ	×	オ	○	カ	×
(2)	子どもの発達の段階を踏まえること。											
	家庭・地域との連携を推進し、保護者や地域の理解を得ること。											

4

(1)	大腸菌			塩化物イオン		
(2)	ア	末端	イ	0.1	ウ	細菌
(3)	基準に適合するまで飲用等を中止すること。					

解答欄に示しているのは、解答例です。

○　　○　　○　　○

令和６年度教員採用候補者選考試験解答用紙　（その２）

5

(1)	ア	a	9	b	3	c	5	d	6	e	7
	イ	友人・教員との人間関係									
(2)	ひどく落ち込んだときには他者に相談する。										
	友だちに「死にたい」と打ち明けられたら、信頼できる大人につなぐ。										
	自殺予防のための関係機関について知っておく。										

6

(1)	ア	①	機能	②	貯蔵	
	イ	(記号) 2		(誤) ビタミンA		(正) ビタミンC
	ウ	タンニン				
(2)	①	E	②	A	③	B	④	G

7

(1)	ア	摂食障害	イ	思春期早発症
	ウ	起立性調節障害	エ	アナフィラキシー
	オ	甲状腺機能低下症		
(2)	ア	生物的		
	イ	精神疾患に罹患することは誰にでも起こりえるという認識をもたせること。		

解答欄に示しているのは、解答例です。

○　　○　　○　　○

令和６年度教員採用候補者選考試験解答用紙　（その３）

8

(1)	ア	内服	イ	高まん延国
	ウ	２週間	エ	胸部エックス線撮影
(2)	ア	発病	イ	保健所
	ウ	健康相談		

9

(1)	ア	①	鼓膜	②	ツチ骨	③	キヌタ骨
		④	アブミ骨				
	イ	鼓膜の振動を内耳に伝える機能。					
(2)	ア	○	イ	○	ウ	×	

解答欄に示しているのは、解答例です。